HITACHI
Inspire the Next

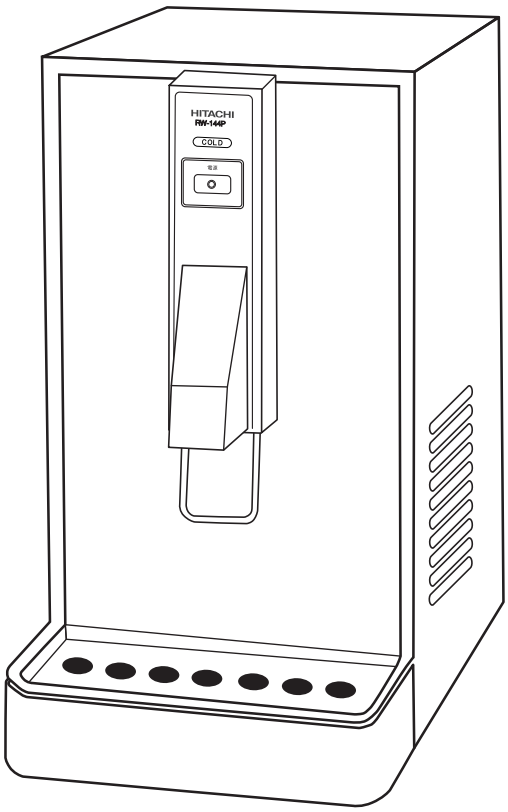
取扱説明書

保証書別添付

日立ウォータークーラー 屋内用 業務用

型式

RW-144P（アールダブリュー ピー）



目　次

●安全上のご注意…… 2～3
●据え付け上の注意事項　●使用上の注意事項
●修理時の注意事項
●各部の名称と働き …… 4
●据え付けについて …… 5
●据え付け場所について　●放熱のための隙間について
●アース接続について
●お使いになる前に …… 6
●冷却タンク内の洗浄　●冷却タンク内への給水
●ノズルから出る飲料水量調節　●排水方法について
●お使いになる前に知っておいていただきたいこと… 7
●このようなことにもご注意を…… 7
●ご使用方法…… 7～8
●衛生的にお使いいただくために　●水抜きのしかた
●運転を再開するときは
●お手入れと点検について …… 9
●お手入れの方法　●お手入れのポイント
●定期的に点検しましょう
●サービスを依頼されるときは…… 10
●保証とアフターサービスについて…… 11
●仕　様…… 12
●お客様ご相談窓口 …… 12

このたびは、**日立ウォータークーラー**をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・据え付け説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」➡ P.2～3 をお読みいただき、正しくお使いください。

フロンの見える化

この製品には地球温暖化係数(GWP)が1430のフロン類(HFC-134a)が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロンの回収が必要です。

【冷媒の「見える化」表示について】
この表示は、本製品に温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識して頂くための表示です。

日本国内用
Use only in Japan

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	「死亡または重症を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例
⚠「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠してはいけない「禁止」内容のものです。
❗実行していただく「指示」内容のものです。

■据え付け上の注意事項

⚠警告

厳守	**不安定な場所に設置しないでください。** 転倒・落下によるけがなどの原因になることがあります 。
水ぬれ禁止	**水の掛かる場所や湿気の多い場所には据え付けないでください 。** 絶縁が悪くなり、漏電し感電や火災の原因となります 。
アース設置	**アースを確実に取り付けてください 。** 故障や漏電の時、感電の原因になることがあります 。 アース工事は、必ず販売店または専門業者に依頼してください 。
厳守	**定格15A交流100Vのコンセントを単独で使ってください。** 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠注意

厳守	**専用の漏電遮断器を設置してください 。** お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります 。
禁止	**油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください 。** 万一漏れてウォータークーラーの周辺にたまると、発火の原因になることがあります 。

■使用上の注意事項

⚠警告

禁止	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください 。** 感電・ショート・発火の原因になることがあります 。
厳守	**電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください 。** 異常発熱や火災の原因になることがあります 。
禁止	**電源プラグをウォータークーラーの背面で押しつけないでください 。** 電源プラグを傷つけ、感電や火災の原因になることがあります 。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください 。** 感電の原因になります 。
水ぬれ禁止	**本体に水を掛けないでください 。** 電気部品に水が掛かると感電や火災の原因になります 。

■使用上の注意事項（続き）

⚠警告

禁止	**定格15A交流100Vのコンセントを単独で使ってください。** 定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。
禁止	**製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。** 転倒・落下によりけがや破損の原因になることがあります。
禁止	**可燃性スプレーを近くで使わないでください。** 電気接点のスパークで引火するおそれがあります。
厳守	**可燃性ガスなどのガス漏れがあったときには、ウォータークーラーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。** 引火爆発し、火災や火傷の原因になることがあります。
プラグを抜く	**焦げ臭いなどの異常がある場合は、電源プラグを抜き、運転を中止し、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口に点検・修理を依頼してください。** 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。
接触禁止	**空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒などを入れないでください。** 内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。 吹き出し口や吸い込み口に触らないでください。端面で指をけがするおそれがあります。

⚠注意

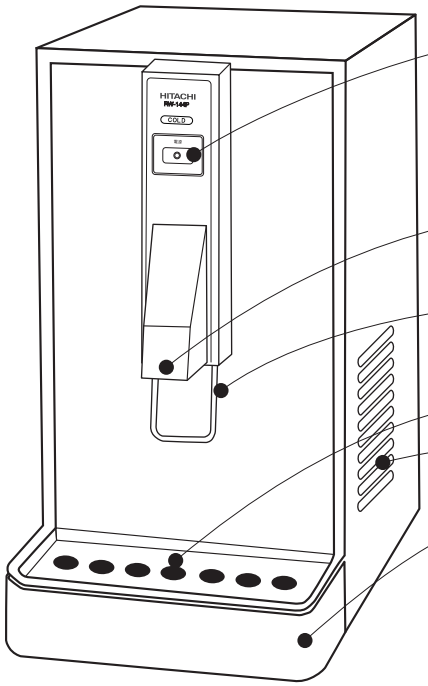
禁止	**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。** 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
プラグを持つ	**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。** 感電やショートして発火することがあります。
厳守	**給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。** 雑菌により健康を害するおそれがあります。
厳守	**冬期など周囲温度が0℃以下になるときには、水抜きをしてください。** 配管系に水が残っていると凍結し、配管を破損させて水漏れの原因になります。
厳守	**長期間ご使用にならないときは、必ず水抜きをし電源プラグをコンセントから抜いてください。** 水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。
厳守	**毎日1回、必ず5分以上通水してください。また、定期的に（月に1回程度）タンク内を洗浄してください。** 水が腐敗する原因となることがあります。

■修理時の注意事項

⚠警告

分解禁止	**修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。** 発火したり、異常動作して、けがをすることがあります。

各部の名称と働き



■運転ランプ
運転中点灯します。

■ノズル

■給水弁レバー
押すと、飲料水が取り出せます。

■コップ受け

■放熱グリル（吹き出し口）

■排水受け
あふれた水をためて、捨てます。

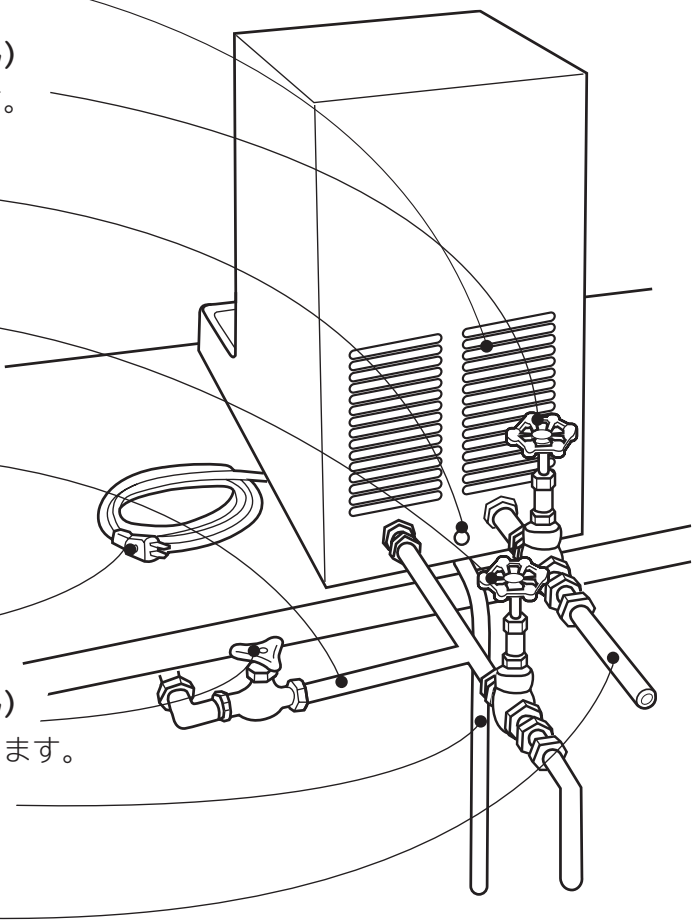
■放熱グリル（吸い込み口）

■水抜口バルブ（付属しておりません）
冷却タンク内の洗浄時に開閉します。

■アース接続ねじ

■配管内排水バルブ
（付属しておりません）

■水入口管
（付属しておりません）



■電源プラグ

■水入口バルブ（付属しておりません）
ノズルから出る飲料水の量を調整します。

■排水ホース（付属しておりません）
連続排水をするときに使用します。

■水抜管（付属しておりません）

※背面図の配管接続は、据え付け工事の一例です。

据え付けについて

据え付け工事は専門の技術が必要ですので、お買い求めの販売店または工事店にご相談いただき、水道事業者（各水道局等）または水道事業者の指定を受けた指定給水装置工事事業者に工事をご依頼してください。なお、費用や据え付け場所の選定も販売店または工事店にご相談ください。

●給水源には必ず水質基準（厚生労働省令第101号）に適合した飲料水をご使用ください。
●給水圧はゲージ圧0.15～0.7MPaの範囲内でお使いください。

⚠警告

●据え付け工事は水道事業者または水道事業者の指定を受けた指定給水装置工事事業者に工事をご依頼してください。
お客様ご自身で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

据え付け場所について

1　不安定な場所に設置しないでください
●据え付けが不安定ですと、振動や騒音の原因になります。
●正常に動作しないおそれがあります。
●転倒・落下によるけがなどの原因になることがあります。

2　熱気の少ない所
●直射日光やコンロなどの熱影響を受けますと、冷却力が弱くなります。
●周囲温度30℃以下の所に据え付けてください。なお、35℃まではご使用になれますが、冷却力が弱くなります。

3　湿気の少ない所
●湿気の多い所や、水の掛かる所に据え付けますと、絶縁が悪くなったり、さびたりするおそれがあります。

4　据え付け面がぬれても差し支えない所
●湿気が高いときは配管などの表面に露がつき滴下することがあります。

5　排水しやすい所

⚠警告

●水の掛かる場所や湿気の多い所に据え付けない。
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。

●不安定な場所に設置しないでください。
据え付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるけがなどの原因になることがあります。

⚠注意

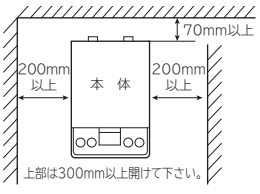
●周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれのある場所へは据え付けない。
周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれがあるときは必ず水抜きをしてください。
給水管の破損により水漏れし、周囲（家財など）をぬらす原因になることがあります。

●据え付け面がぬれても差し支えない所に据え付ける。
給排水の水漏れや、結露水の発生から周囲(家財など）をぬらす原因になることがあります。
電気器具やコンセント等に水が掛かると、感電や火災の原因になることがあります。

●焼肉・お好み焼きなどの飲食店や、調理場付近では直接油煙（オイルミスト）を吸い込まない位置に据え付けてください。
油分などが付着すると、プラスチック部分に亀裂が生じたり熱交換器などの金属部品が腐食するおそれがあります。

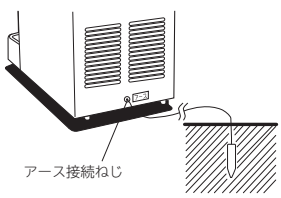
放熱のための隙間について

●ウォータークーラーの周囲には、図のような隙間をとってください。
隙間をとらないと、冷却力が弱くなり電気代のむだにもなります。
●放熱グリルの周囲は、カバーなどで覆わないでください。



アース接続について

●万一、漏電した場合の感電防止と機械の保護のために必ず正しいアースをしてください。アースはD種接地工事（電気設備基準で定める接地抵抗100Ω以下のもの）が必要です。お買い求めの販売店に依頼してください。
●アース線は背面にあるアース接続ねじに接続してください。



⚠警告

●アース工事を必ず行う
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
アース工事は必ず、販売店または専門業者に依頼してください。

お使いになる前に

冷却タンク内の洗浄

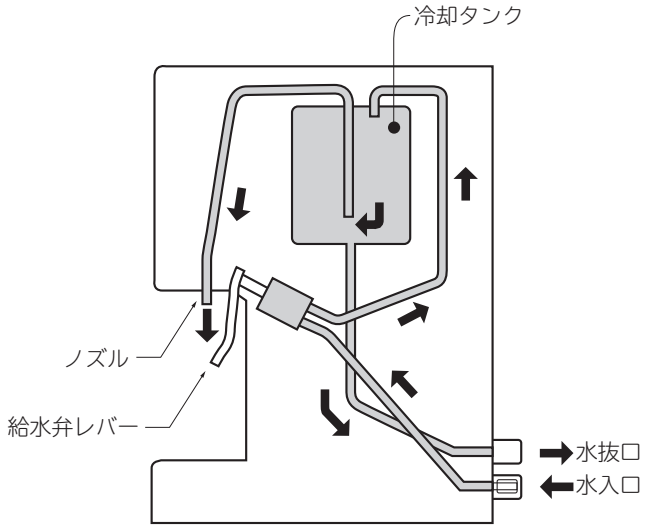
据え付け当初は、水に配管などの臭いが移ることがあります。臭いが消えるまで次の手順で充分水を流してください 。

1 水抜口に接続している水抜口バルブを開けます。各部の名称は ➡ P.4
2 水入口に接続している水入口バルブを開けます。
3 給水弁レバーを押します。約５分ほどレバーを押し続けてください。冷却タンク内および配管内を水が通過し、洗浄されます。
4 水抜口バルブを閉めます。

⚠注意

●タンク内の洗浄は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

＜水の流れ系統図＞



冷却タンク内への給水

冷却タンク内などの洗浄が終りましたら、水抜口バルブを閉めて給水弁レバーを押してください。冷却タンク内に水が入ると同時にノズルからタンク内の空気が水と混って、噴出されます。
正常な噴水になるまで、給水弁レバーを２～３分押しつづけてください。

ノズルから出る飲料水量調節

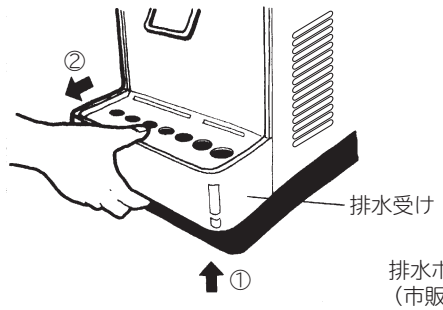
ノズルから出る飲料水量調節は、水入口バルブの開閉で調節します。各部の名称は ➡ P.4
(給水圧はゲージ圧0.15～0.7MPaの範囲内での調節です。)

排水方法について

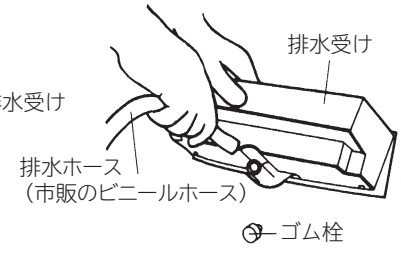
連続排水をする場合

次の手順で排水ホースを接続してください。

1 排水受けを少し持ち上げて手前に引き出す。



2 排水受けのゴム栓を抜いて、排水ホースは市販のビニールホース（内径14～15mm）を確実に接続し、本体にセットする。



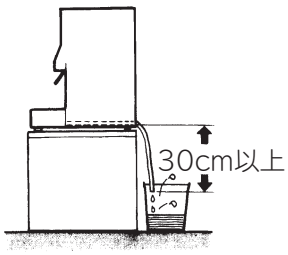
排水受けにためる場合

●ゴム栓を抜かず、そのままお使いください。
●排水受けが満水（約1.4Ｌ）になったらそのつど捨ててください。

⚠注意

ホースから水が流れないと、排水受けから水があふれる原因となります。

●排水受けよりホースが高くならないようにしてください。
●背面に垂らしたホースの長さは30cm以上にしてください 。
●ホースの途中に高低差をつけたり 、先端を水中に入れないようにしてください 。
●ホースは折れ曲りやつぶれがなく、水が流れることを確認してください。



お使いになる前に知っておいていただきたいこと

●以下の項目をよくお読みいただき、範囲外の使用はさけてください。

1　運転可能な周囲温度は1℃～ 35℃です。

●周囲温度が0℃以下の場合、配管内の水が凍結し使用できなくなるばかりか、配管を破損することがあります。周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれがあるときは必ず水抜きをしてください。

2　飲み頃の水温になるまでの時間

●冷却タンクへの給水が完了し、運転開始後飲み頃の水温（25℃→約10℃）になるまで約20分かかります。

●洗浄運転後も飲み頃の水温（25℃→約10℃）になるまで約20分かかります。

このようなことにもご注意を

1　断水のときは

●断水が予告されたり、断水に気付いたときは、水入口バルブを閉めてください。水入口バルブを開けておきますと、通水されたときに赤水が出て、“詰まり”の原因になることがあります。

2　いったん運転を停止したら

●いったん停止したあと、運転を開始するまで3分以上間をおいてください。

すぐに運転を開始しますと運転がうまく行われず、ガタガタ音がすることがあります。万一そのような状態になったときは、すぐに運転を停止させ、3分以上間をおいてから再び運転を開始すれば正常に運転します。

3　改造してご使用にならないでください。

●ノズルからさらに配管を延長したり、その配管にバルブを接続してお使いになりますと、冷却タンク内に大きな圧力がかかり、タンク亀裂・水漏れのおそれがあります。

4　冬期の凍結について

●冬期など周囲温度が0℃以下となり、凍結のおそれがあるときは、必ず冷却タンクや配管の水抜きをしてください。水抜きをしないと冷却タンクや配管が破損するおそれがあります。水抜きのしかたは ➡ P.8

5　排水受けについて

●排水受けを落としますと割れやすいのでご注意ください。

ご使用方法

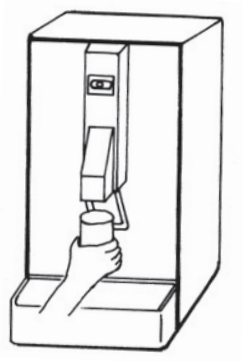
1　運転開始

電源プラグをコンセントに差し込むと運転ランプが点灯し、運転を開始しますが、冷却タンク内の洗浄、冷却タンク内への給水作業が必要です。

冷却タンク内への給水 ➡ P.6 が完了後、飲み頃の水温（25℃→10℃）になるまでに約20分かかります。そのあとご使用できます。

2　飲料水の取り出し方

給水弁レバーに“コップ”を沿わせ、軽く押すと飲料水が取り出せます。



ご注意

●飲料水取り出し直後、あるいは運転中にノズルから飲料水が垂れることがあります。これは、飲料水取り出し直後に冷却タンクが収縮する、あるいは、運転中に冷却タンク内の水の一部が凍結し、内部圧力が一時的に上昇するために起こる現象であり、異常ではありません。

衛生的にお使いいただくために

衛生的にお使いいただくために、次のことを励行してください。

■毎日１回通水してください。

新鮮な飲料水をお飲みいただくため、毎日使用開始30分前に、約５分以上ノズルから飲料水を流してください。

■毎月１回冷却タンク内を洗浄してください。冷水タンク内の洗浄は **➡ P.6**

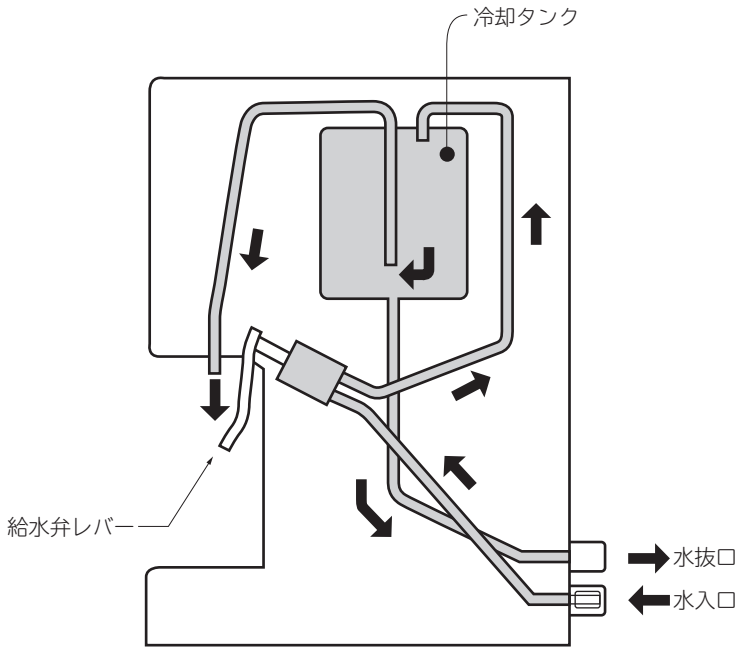
水抜きのしかた

周囲温度が０℃以下になって凍結するおそれがあるとき、または１週間以上ご使用にならない場合は次の手順で行います。

1 電源プラグをコンセントから抜きます。
2 水抜口バルブを開けます。
冷却タンク内の水が約３分ほどで水抜口から排水されます。
3 水入口バルブを閉め、配管内排水バルブを開けます。
4 給水弁レバーを10秒ほど押します。（配管内の水が排水されます）

●「水抜き」が終わりましたら、２～３日そのままにして内部を乾燥させます。乾燥後は水抜口バルブを閉めてください。
●ほこりよけの簡単なカバーをかぶせておきますと安心です。なお、機械部分への注油は必要ありません。

＜水の流れ系統図＞



運転を再開するときは

毎日１回の通水と月１回の冷却タンク内洗浄および冬期など周囲温度が０℃以下になるときなどの水抜きを行ったあとは、次の要領で運転を再開します。

●水入口バルブおよび水抜口バルブを開け、約５分ほど給水弁レバーを押して水を流し、冷却タンク内を洗浄してください。
●水抜口バルブを閉め再度給水弁レバーを押してください。冷却タンク内に水が入ると同時にノズルからタンク内の空気が水と混じって噴出されます。正常な噴水になるまで、レバーを押し続けてください。
●電源プラグをコンセントに差し込むと運転が再開します。

お手入れと点検について

お手入れの方法

ウォータークーラーを長持ちさせるために定期的にお手入れしてください。お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本体表面のお手入れ（週に 1 回程度）

●柔らかい布で拭いてください。汚れのひどいときは、柔らかい布に中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませて拭いてください。拭いたあとは、洗剤が残らないようきれいな水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
電気部品の周囲は固く絞った布で拭いてください。
●直接水を掛けないでください。
水が掛かると絶縁が悪くなったりさびたりします。
●次のようなものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・熱湯・たわしなど。
●化学雑巾をご使用の際は、その注意書に従ってください。

⚠警告

●ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたりしない。
感電の原因になります。

●水を掛けない。
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

●電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭きとる。
ほこりでショートしやすくなり、火災の原因になります。

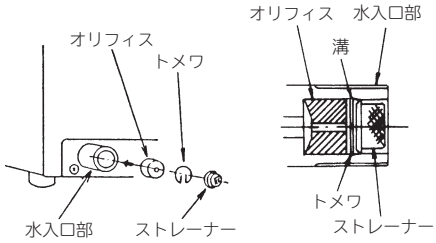
●電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電･ショート･発火の原因になります。

お手入れのポイント

オリフィス・ストレーナー

オリフィスとストレーナーが水入口部に組み込まれています。ストレーナーやオリフィスにごみなどが詰りますと、水の出が悪くなります。ごみなどが詰った場合はピンセットで取り除いてください。

●オリフィス、ストレーナーは図の向きで挿入し、トメワは内側の溝に確実に入れてください。
●給水圧が低く、水の出が悪い場合はオリフィスを取り外してご使用ください。



冷却タンク内

●毎月１回冷却タンク内の洗浄をしてください。冷水タンク内の洗浄は ➡ P.6

給水弁レバー・コップ受け・排水受け（週に 1 回程度）

●給水弁レバー、コップ受け、排水受けなど飲料水取り出し周囲は、常に清潔にお使いいただくために週に１回程度水洗いしてください。

定期的に点検しましょう

安心してご使用いただくために、半年～１年に１度定期的に次のような点検を行ってください。
そのとき、もしご不審な点がありましたら、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。(年に1､2回)

●電源プラグは、コンセントにしっかり入っていますか？
●電源プラグに異常な発熱などありませんか？
●電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか？
●本体背面の放熱グリル周囲にほこりなどがたまっていませんか？
●給水管・排水管に水漏れはありませんか？
●アース線は切れたり接続がゆるんでいませんか？

サービスを依頼されるときは

故障かなと思ったらまず次のことをお調べください。

●下記のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認してください	直しかた
運転しない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	停電やブレーカー、ヒューズが切れていませんか。	ブレーカーが“OFF”になっている場合は、“ON”にしてください。 ヒューズが切れている場合は、新しいヒューズと交換してください。
よく冷えない	周囲温度が35℃以上あるいは、水道の水温が30℃以上になっていませんか。	周囲温度が35℃、給水の水温が30℃を超えないようにしてください。
	直射日光が当たったり、近くにコンロやレンジなどがありませんか。	直接熱が当たらないようにしてください。
	周囲の隙間は適切ですか。	➡ **P.5** を厳守してください。
	放熱グリルをカバーなどで塞いでいませんか。	吹き出し口を物で塞がないように配置してください。
	放熱グリルにほこりや紙くずがたまっていませんか。	お手入れ方法を見て、お手入れしてください。➡ **P.9**
	水を入れ替えた直後ではありませんか。	少々お待ちください。 飲み頃の水温になるまで約20分かかります。➡ **P.7**
	少し前に停電していませんか。	少々お待ちください。 飲み頃の水温になるまで約20分かかります。➡ **P.7**
音がうるさい	不安定な所に設置されていませんか。	安定した所に設置してください。
	ウォータークーラーに何か物が触れていませんか。	外観に物が触れていないか確認してください。
水の出が悪い	給水圧が下がっていませんか。	水入口バルブを回して給水圧を上げてください。➡ **P.4**
	ストレーナーにゴミが詰まっていませんか。	ストレーナーのごみを取り除いてください。➡ **P.9**
水が出ない	水入口バルブが開いていますか。	水入口バルブを開いてください。 ➡ **P.4**
	断水や停電ではありませんか。	ご確認ください。
	給水管が凍結していませんか。	ご確認ください。
水が臭う	水道水に含まれる塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	

これは故障ではありません	
配管に露がつく	異常ではありません。これはコップに水を注いだとき回りに水滴が付くのと同じ現象で故障ではありません。
水が流れるような音がする	異常ではありません。これは冷凍サイクルの中の冷却液が流れる音（シュー）です。
ノズルから飲料水が垂れる	異常ではありません。これは飲料水取り出し直後に冷却タンクが縮小したり、運転中に冷却タンク内の水の一部が凍結し、内部圧力が一時的に上昇するために起こる現象です。

保証とアフターサービスについて（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
（ニ）車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。

保証期間：お買い上げの日から１年間です。（ただし、冷凍サイクル部品は3年間です。）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

ウォータークーラーの補修用性能部品の保有期間は 、製造打ち切り後 8 年です 。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です 。

転居されるときは

転居時は、取り外し、再据え付けが必要です。お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」（エコーセンター）➡ P.12 にお問い合わせください 。

修理を依頼されるときは（出張修理）

➡ P.10にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください 。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください 。

品　　名	日立ウォータークーラー
型　　式	RW-144P （正面操作パネル銘板に記載されている型式をお知らせください）
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご　住　所	付近の目印等もお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　）　　－
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張費などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業に掛かる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金を頂く場合があります。

仕　様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型　　式	RW-144P
タンク容量（L）	2
外形寸法（mm）	幅300×奥行445×高さ540
定格電圧（V）	100
定格周波数（Hz）	50／60共用
定格消費電力（W）	176／190
性能（L/h）	10／11
製品質量（Kg）	17

●定格消費電力および性能は周囲温度30℃、入口水温度25℃、出口水温度10℃のときの値です。
●／で示す数値は左が50Hz、右が60Hzの値です。
●本仕様は日本国内の使用においてのみ適用するものです。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談はエコーセンターへ

TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87
（受付時間）9:00～19:00（月～土）
9:00～17:30（日・祝日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－34
（受付時間）9:00～17:30（月～土）・9:00～17:00（日・祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
● お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
● ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
● 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

愛情点検

長年ご使用のウォータークーラーの点検を！

こんな症状はありませんか？	ご使用中止
●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深い傷や変形がある。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●ピリピリと電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

この製品は、フロン排出抑制法の第一種特定製品です。地球温暖化防止のため、適正にフロン回収する必要があります。この製品を廃棄・整備する場合は、専門業者が行いますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
①フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
②この製品を廃棄・整備する場合は、フロン類の回収が必要です。
③この製品で使用しているフロンの種類、地球温暖化係数（GWP）および封入量は製品本体の銘板に表示しています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。
サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	型式	
購入店名	電話　（　）		

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話（03）3502-2111